

59-72

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7年 6月 30日

豊 田 市 長 殿

提出者 愛知県豊田市梅坪町6丁目7番地2
住所 有限会社 マツヤマ
氏名 代表取締役 松山 純成
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

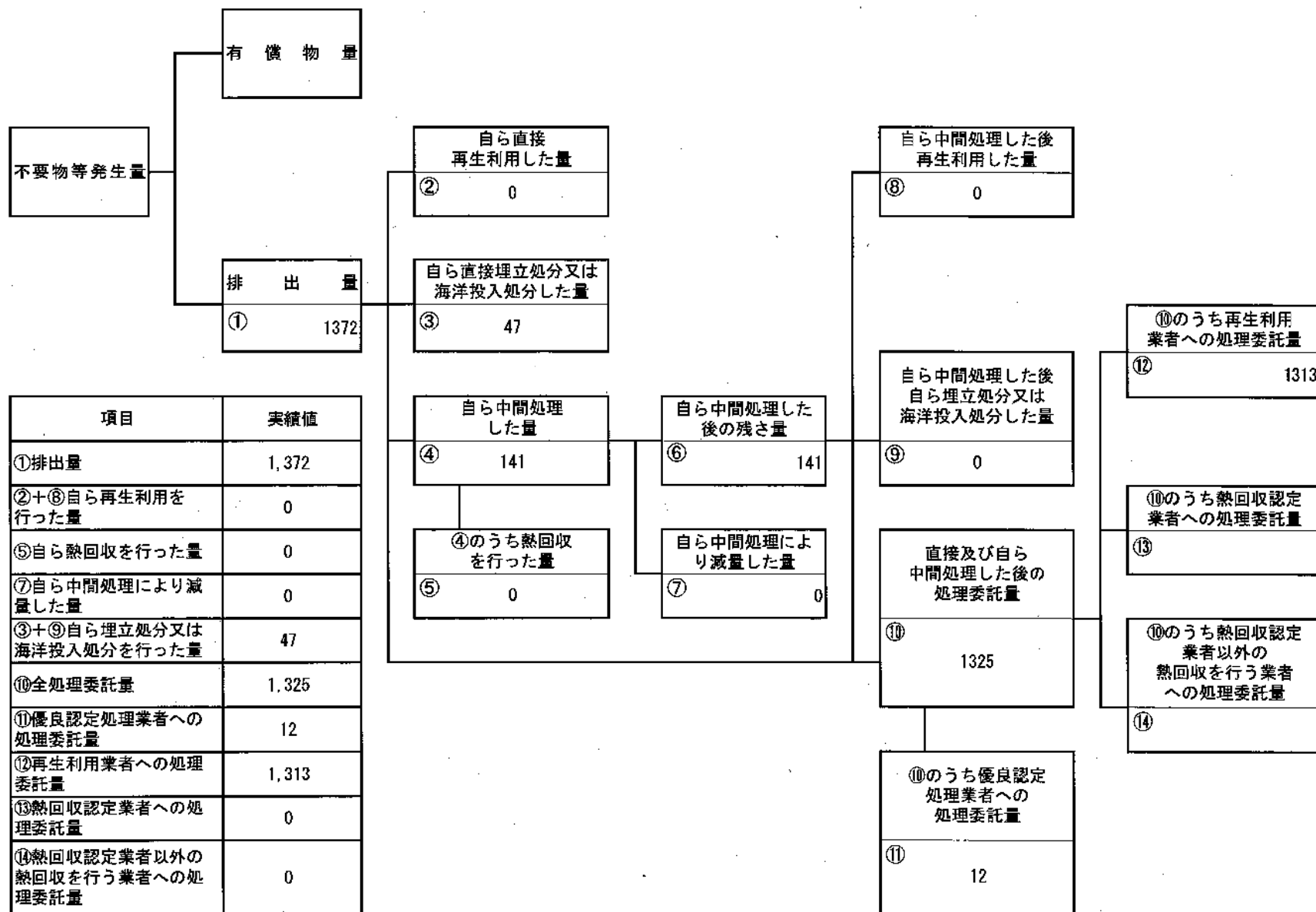
電話番号 0565-34-6701

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、令和6年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	有限会社 マツヤマ		
事業場の所在地	愛知県豊田市梅坪町六丁目7番地2		
事業の種類	総合工事業		
産業廃棄物処理計画における計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	4995t	全処理委託量	4970t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0t	優良認定処理業者への処理委託量	1000t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0t	再生利用業者への処理委託量	3970t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0t	認定熱回収業者への処理委託量	0t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	25t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0t
※事務処理欄			

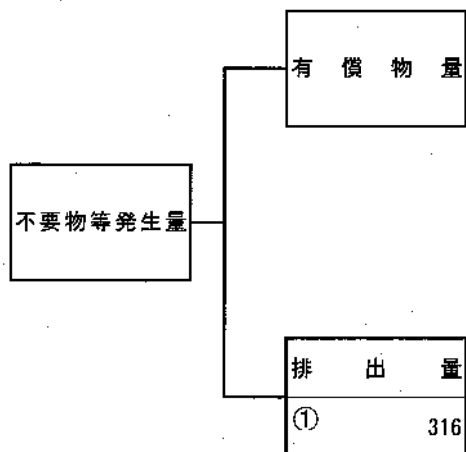
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： がれき類)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 木くず類)



項目	実績値
①排出量	316
②+⑧自ら再生利用を行った量	0
⑤自ら熱回収を行った量	0
⑦自ら中間処理により減量した量	0
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0
⑩全処理委託量	316
⑪優良認定処理業者への処理委託量	234
⑫再生利用業者への処理委託量	82
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0

自ら直接再生利用した量

② 0

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量

③ 0

自ら中間処理した量

④ 24

④のうち熱回収を行った量

⑤ 0

自ら中間処理した後の残さ量

⑥ 24

自ら中間処理により減量した量

⑦ 0

自ら中間処理した後再生利用した量

⑧ 0

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量

⑨ 0

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量

⑩ 316

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量

⑪ 234

⑩のうち再生利用業者への処理委託量

⑫ 82

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

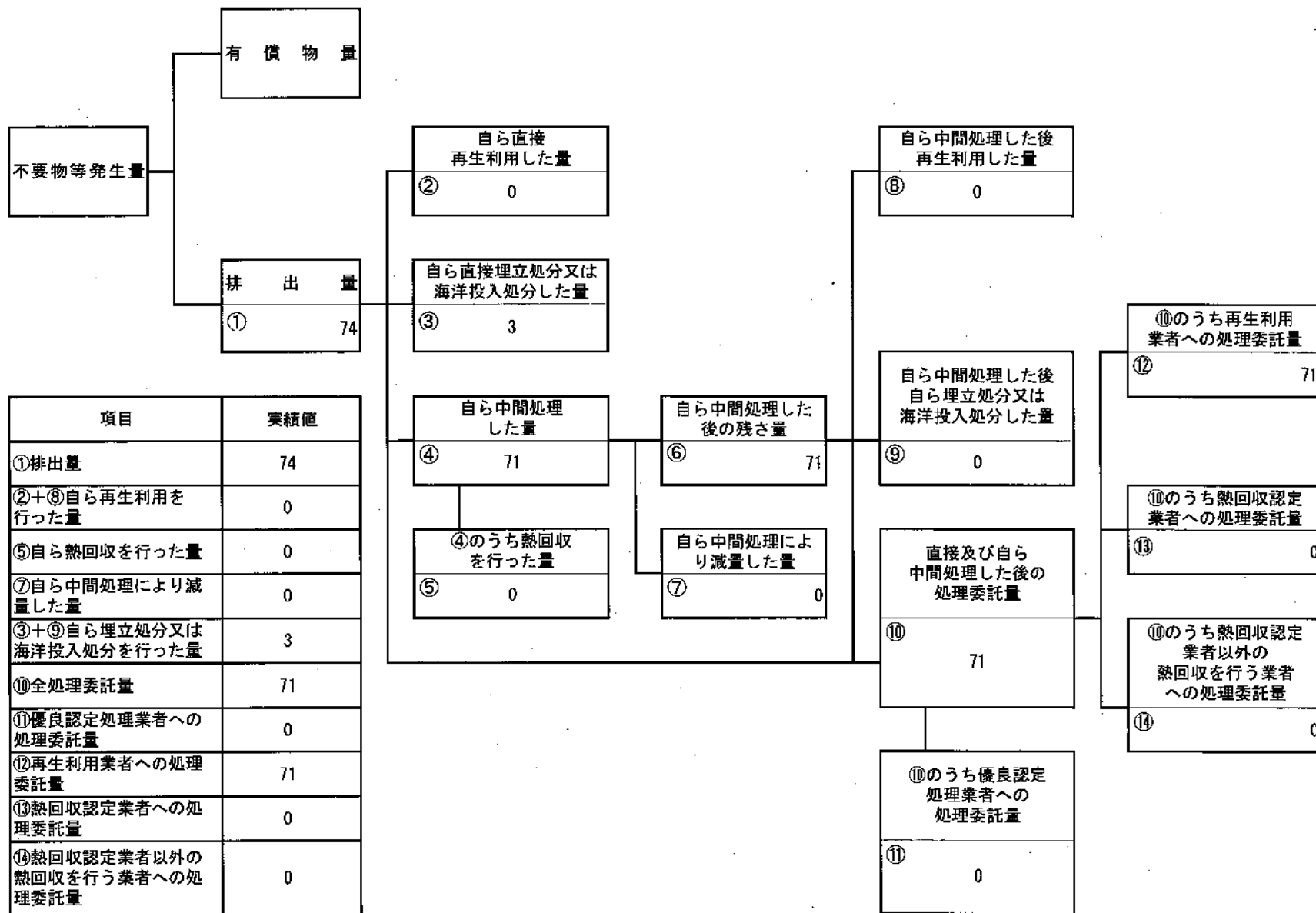
⑬ 0

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量

⑭ 0

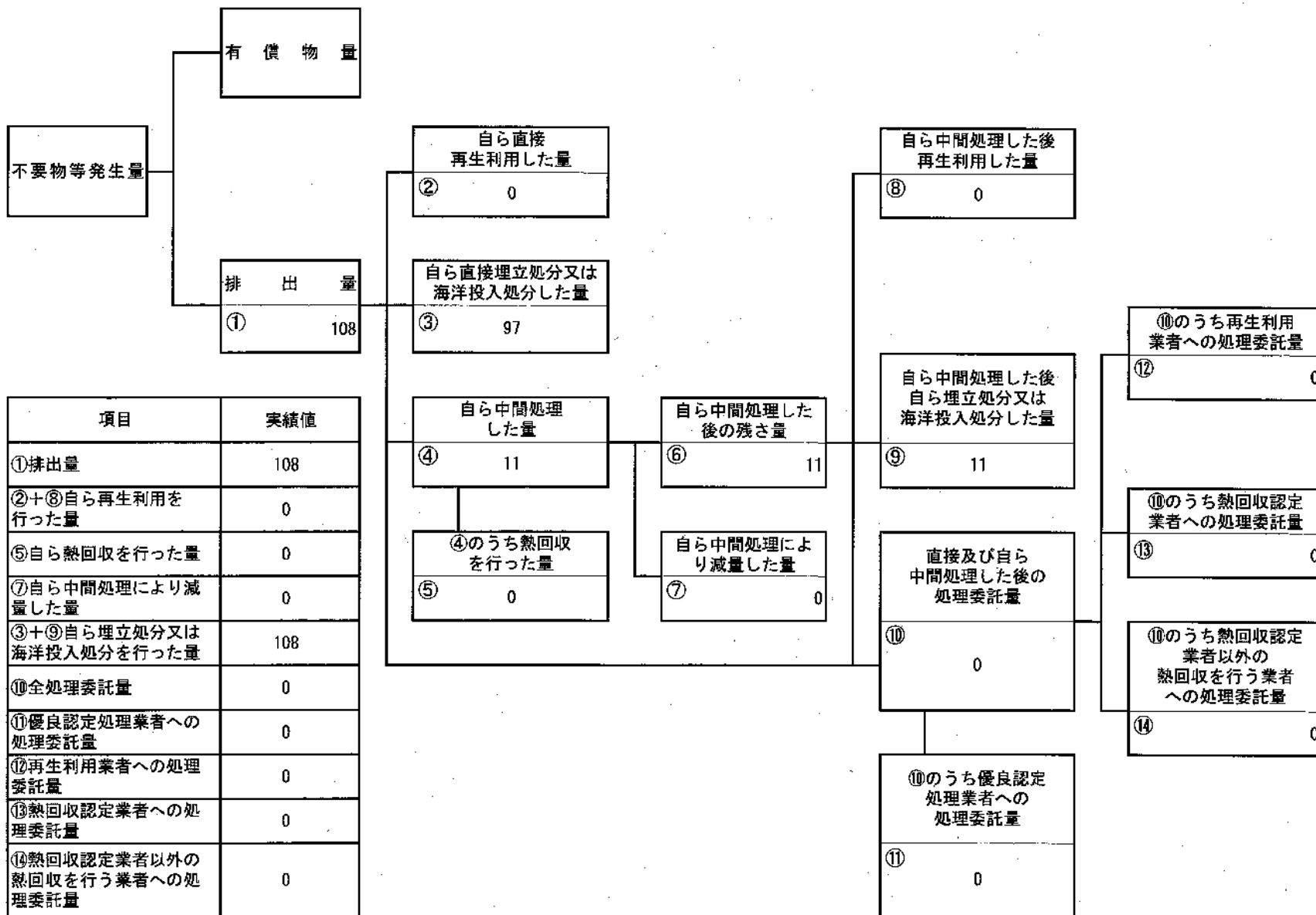
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラ類)



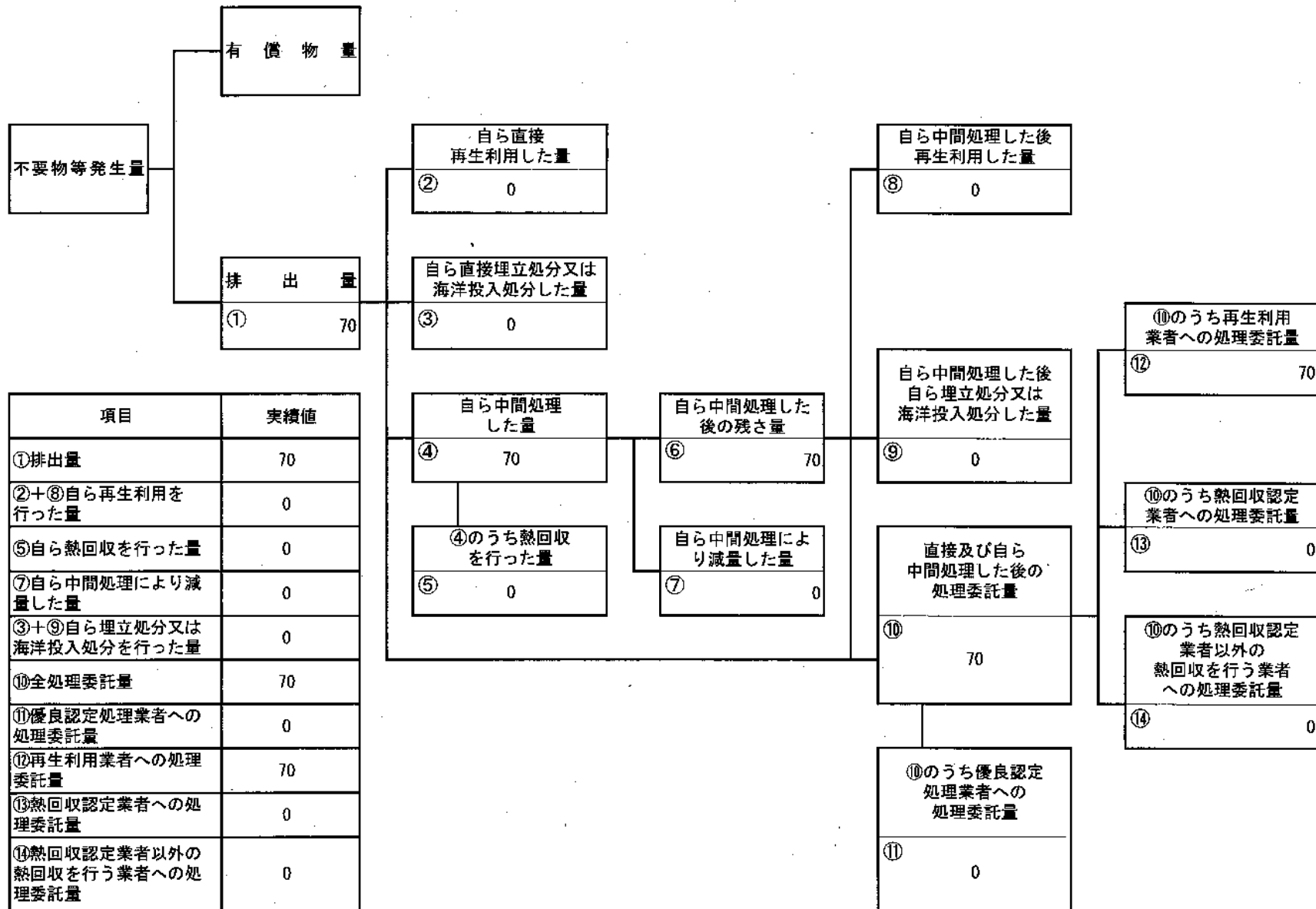
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類: 建設系混合廃棄物)



産業廃棄物処理状況調査票

(No.)

1 事業場の概要

項目	内容	項目	内容	備考
事業場の名称	有限会社 マツヤマ	従業員数(人)	18	前年度の3月31日現在の従業員数(パート等の臨時職員及び役員等を含む)を記入して下さい。
記入者名	松山	当該事業所の元請完成工事高(万円/年) 当該事業所の製造品出荷額(万円/年)	元請完成工事高 : 51958万円	建設業の場合記入。 愛知県内(政令市を除く。)で行われた工事の年間の元請完成工事高(出来高工事を含む)を記入して下さい。 製造業の場合記入。 前年度の4月1日から3月31日までの1年間の額を記入して下さい。
連絡先	0565-34-6701			

2 実施状況

産業廃棄物の種類 (名称)		がれき類	木くず類	廃プラスチック類	石綿含有産業廃棄物	建設系混合産業廃棄物
前年度計画の実施状況 (1年度実績)	a 不要物等発生量(t/年)	1372	316	74	108	70
	b 有償物量(t/年)	0	0	0	0	70
	① 排出量(t/年) (①=a-b)	1372	316	74	108	70
	② 自ら直接再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途					
	③ 自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	47	0	3	97	0
	埋立処分先	A 県内		A 県内	A 県内	
	④ 自ら中間処理した量(t/年)	141	24	71	11	70
	処理方法	E : その他	E : その他	E : その他	E : その他	E : その他
	⑦ 自ら中間処理により減量した量(t/年) (⑦=④-⑥)	0	0	0	0	0
	⑥ 自ら中間処理した後の残さ量(t/年)	141	24	71	11	70
	⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	0	0	0
	再生利用用途	E : その他	E : その他	E : その他	E : その他	E : その他
	⑨ 自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	11	0
	埋立処分先				A 県内	
	c 自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (c=⑥-⑧-⑨)	141	24	71	0	70
	d 直接処理委託量(t/年) (d=①-②-③-④)	1184	292	0	0	0
	⑩ 直接及び自ら中間処理した後の処理委託量(t/年) (⑩=c+d)	1325	316	71	0	70
	e 埋立処分又は海洋投入処分の処理委託量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先					
	f 委託中間処理量(t/年)	0	316	71	0	70
	処理方法					E : その他
	g 委託中間処理により減量した量(t/年)	0	0	0	0	0
	h 委託中間処理した後再生利用した量(t/年)	0	0	71	0	70
	再生利用用途			B : 燃料		A : 原料・材料
	i 委託中間処理した後埋立処分又は海洋投入処分した量(t/年)	0	0	0	0	0
	埋立処分先					
j 再生利用量(t/年) (j=②+⑧+h)		1313	316	71	0	70
k 中間処理による減量(t/年) (k=⑦+g)		0	0	0	0	0
l 最終処分量(t/年) (l=③+⑨+e+i)		47	0	3	108	0

(注) 1 産業廃棄物発生・処理フロー図を参考に記載してください。

2 再生利用用途コード A : 原料・材料 B : 燃料 C : 飼料・肥料 D : 建設材料 E : その他(具体的に記載)

3 処理方法コード A : 焼却・溶融 B : 脱水・乾燥 C : 破砕・圧縮 D : 中和 E : その他(具体的に記載)

4 記入欄が不足する場合は、シートをコピーしてお使いください。なお、この場合、右No.欄にページを記載してください。

5 ①~④、⑥~⑩は様式第二号の九又は様式第二号の一四の第2面と同じ項目です。